

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月25日(水)	試合番号	S2	回戦	男子決勝
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ		

Aチーム			Bチーム		
氷見北部（富山）			東久留米西（東京）		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	7	前半	18	35	
	13	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

全国の頂点を決める男子決勝戦。決勝に駒を進めたのは、接戦を制し勢いに乗る氷見北部（富山）と安定した戦いぶりで勝ち上がってきた東久留米西（東京）。氷見北部のスローオフで試合が始まる。氷見北部は開始早々に7 m Tのチャンスを得るが、東久留米西のG K1番がナイスセーブ。攻守の切り替えが速い東久留米西は速攻から得点を重ね、8分までに6-2とリードを奪うと、氷見北部はたまたらずにタイムアウトをとる。氷見北部7番が7 m スローを決めるなど、流れが変わるかと思われたが、東久留米西は、固いディフェンスからの速攻やリスタートから得点を重ねる。氷見北部は16分すぎに早くも2回目のタイムアウトをとる。24分、氷見北部5番が連続得点をするが、東久留米西が氷見北部に対し18対7と大きくリードし、前半を終えた。

後半、氷見北部はマンツーマンDFにシステムを変更し、局面の打開を図る。しかし東久留米西は焦ることなく、広いスペースから高い個人技とコンビネーションプレーで得点を挙げ、氷見北部を突き放す。氷見北部は5番、8番の気持ちのこもったプレイで得点し、最後まで諦めない姿勢を見せる。しかし東久留米西は集中したディフェンスを最後まで続け、隙を見せない。そのまま試合終了となり東久留米西が35-20で氷見北部を下し、日本一の栄冠を手にした。

記載者名

原 畠 順平